

# たがじょう

## 市議会だより



第4回定例会結果報告

追跡レポート

一般質問

常任委員会行政視察

あんなこと、こんなこと議論の足跡

城南小学校そば作り体験

No.86

平成26年(2014年)  
2月1日発行

# 東日本大震災復興交付金第7回申請分が採択

- ・ 緊急避難路・物流路（清水沢多賀城線）整備事業
- ・ 津波復興拠点整備事業（八幡一本柳地区）
- ・ 宮内地区被災市街地復興土地区画整理事業

## 市役所職員旅費の条例を改正

外国旅行の旅費で支度料を廃止しました。

## 消費税率と地方消費税率の引き上げによる条例改正

4月1日の消費税率引き上げにより使用料などを変更しました。

## 市営住宅の管理代行制度導入

災害公営住宅建設で管理する市営住宅が増えることから、宮城県住宅供給公社が管理を代行します。

## 大代公民館を大代地区コミュニティ推進協議会へ（指定管理）

平成26年度から平成30年度まで5年間運営管理を指定。

## 請願・陳情

市民のみなさんの声を直接議会へ届けるチャンスです。ぜひ活用してください。  
今定例会では議会に対し、8件の陳情がありました。

- ・ 平成26年度税制改正に関する提言について
- ・ 要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書
- ・ 平成26年度商工振興事業費補助金（商工会運営費補助金）の要望書
- ・ 平成26年度観光事業費補助金の要望書
- ・ 平成26年度商工振興事業費補助金（たがじょう市民市運営費補助金）の要望書
- ・ 陳情書
- ・ P.M.2. 5の測定器設置について
- ・ 請願書

## 市議会が国へ意見書を提出しました

・ 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書

介護保険の急激な制度変更で現場の事業者や市町村に大きな混乱が起きないように配慮を求めて、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣へ意見書を提出しました。





第4回  
定例会結果

さらに進む

# 復興事業

市議会は、第4回定例会を昨年12月11日から18日まで8日間の会期で開催し、15件の議案が提出され審議しました。

## 各議員が出した結論 第4回定例会表決結果一覧

◎第4回定例会市長提出議案

- 1 職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 2 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例について
- 3 多賀城市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 4 指定管理者の指定について
- 5 塩釜地区環境組合の解散及び財産処分について
- 6 塩釜地区消防事務組合理約の変更について
- 7 工事請負変更契約の締結について
- 8 工事請負変更契約の締結について
- 9 財産の取得について
- 10 平成25年度多賀城市一般会計補正予算（第6号）
- 11 平成25年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計補正予算（第2号）

- 12 平成25年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算（第5号）
- 13 平成25年度多賀城市水道事業会計補正予算（第4号）

◎第4回定例会 議会が提出した議案

- 14 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書の提出について
- 15 介護保険制度変更に対する意見書の提出について

案件等の番号	自由民主党						日本共産党				公明党		民	市	新	無	審議結果		
	江口	深谷	伏谷	米澤	金野	森	吉田	柳原	戸津川	藤原	佐藤	松村	阿部	根本	雨森	昌浦		竹谷	板橋
	正天	晃祐	修一	まき子	次男	長一郎	瑞生	清	晴美	益栄	恵子	敬子	正幸	朝栄	修一	泰巳	英昭	恵一	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
2	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長は公正中立の立場から表決に加わりません
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
15	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	否決

表示の説明 賛成は○ 反対は× 会派名 自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団 公明党＝公明党多賀城市議団 民＝民政クラブ 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ 板橋議長は公正を期すため無会派になります。

# こと な

# と議論の足跡

議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第4回定例会では、当局との間で主なものとして次のような質疑応答が行われました。

## 来年度開設予定の私立保育所について

質 いつ、どこに、定員何人で開設されますか。  
答 平成26年10月、南宮字町に、定員60人で開設予定です。

質 待機者の解消はできますか。  
答 11月1日現在で118人の待機者ですが、希望状況などから30人ほどは解消される見込みです。

質 一時預かり保育は実施しますか。  
答 今のところ予定はありませんが、事業者に検討をお願いしています。



イメージ写真

## 親子のためのドリームフェスティバル開催事業について

質 目的は何ですか。  
答 若い世代が音楽に親しむ機会、コンサートに参加する機会の少ない子育て世代に、音楽の楽しさと子育てに役立つ情報を提供します。

質 開催日、場所、対象、入場料は。  
答 平成26年2月16日(日)午後1時から、多賀城市文化センターで開催します。0歳以上の乳幼児、児童及び保護者が対象です。入場料は一人500円です。



コンサート for キッズ「0歳からのコンサート」  
(H24.4.22開催模様)

## 観光資源発掘事業について

質 どのような事業内容ですか。  
答 地域住民目線での多賀城の魅力を集め、四季を通しての「いいところ(場所・人・物など)」の発見、情報の掘りおこしをして、多賀城の観光情報等を民間放送ラジオで放送します。

質 放送予定は。  
答 週1回、25分番組で2月からスタートします。



# あんな こん

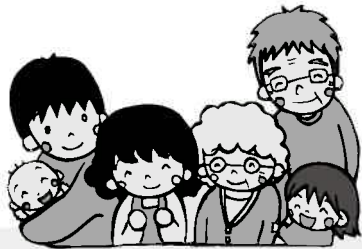
## 民生委員・児童委員の定員の不足と協力員制度について

質 今年は3年に一度の一斉改選にあたり、定数の増加により現在欠員はないのですか。

答 83名から90名に増員しました。現在88名で2名の欠員です。

質 なり手が足りず全国で欠員が生じていますが、新潟市の試みで、委員のサポートや後任育成として「協力員」制度があります。本市でも検討されてはいかがでしょうか。

答 検討します。



## 市営住宅の管理代行制度の導入について

平成26年4月から、市営住宅（災害公営住宅を含む）の管理を県住宅供給公社が代行します。

質 公社による代行で、何がかわりますか。

答 入居募集が年1回から4回に増え、募集対象戸の情報が、間取り、階数等細かに公開され、希望者が選びやすくなります。

質 家賃の支払いは市役所窓口ではできないとのことですが、なぜですか。

答 管理を公社に委託するので、家賃徴収業務は公社が行います。家賃支払いは、公社の窓口以外にも、市の指定金融機関やコンビニでもできます。

質 公開抽選では、市のポイントの高い入居希望者の優先入居は生かされるのですか。

答 入居決定は公開抽選で、高ポイントの入居希望者には2枚、番号札が渡され、当選確率が高くなる配慮がなされます。

質 入居には保証人1名が必要ですが、その確保に難しい入居者に

対して、保証人の廃止を考えてはいかがですか。

答 保証人は市内または近隣の方が原則ですが、それが難しい方には相談に応じます。現段階では、保証人を廃止することは考えていません。

質 現在、入居希望者で補欠の方は、どのような処置になりますか。

答 本年3月31日で補欠の資格はなくなり、その旨を本人に通知します。新たな制度で改めて入居希望申請を行っていただきます。

このコーナーに掲載しました質疑の内容は、  
実際の質疑のごく一部です。

詳しくお知りになりたい方は、お近くの  
市議会議員にお尋ねください。

第4回定例会の会議録は、2月上旬に、市立  
図書館、市役所の情報コーナーでご覧になる  
ことができます。

また、インターネットでも、ご覧になる  
ことができます。

# 会 一 般 質 問

## 一 般 質 問



### 新多賀城市立図書館について

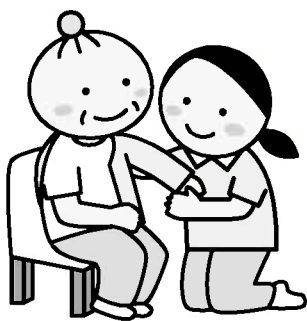
市民クラブ 昌浦 泰巳

**問** ①図書館法第17条と、CCCが計画している有料のスターバックスの飲食物、書店との住み分けは明確なのですか。②公立図書館におけるTポイント利用の問題は、個人情報取り扱いに不透明さが有り、また、公立図書館利用でポイント付与することの法的解釈について、市長は然るべき法律学者などと事前に相談しているのですか。③市長は、図書館の指定管理者としての実績を有する民間業者をどれだけご存知でしょうか。その中でCCCを指定管理者とする根拠は何でしょうか。④指定管理者制度を導入すると、人件費の削減は他関連3項目質問。



際しては、私としても研究していきたいと考えております。③図書館の指定管理を受託している事業者が複数いることは存じておりますが、指定管理候補者の選定の際は、教育委員会の決定を尊重したいと考えております。④今後、運営内容の精査とともに、経費の算出を行いますので、現段階ではお答えできる状況にありません。

**一問** 政府は、消費税の増税とセツトで、介護保険制度のさらなる改悪を進めようとしています。その主なものは、要支援者へのサービスを介護保険からはずし、予算に上限の定められた市の事業に移すというものです。「高い保険料を必死で払い続けてきたのに、ひどすぎる」と怒りが広がっています。このような要支援者の介護保険はずしは、やめるべきだと思いますが、いかがですか。



**答** 多賀城市自転車等駐車場条例では使用料の納入が規定されており、今後も現行の料金体系を継続していきたいと考えております。なお、本市では、生活保護の扶助を受けている方、及び身体障害者手帳の交付を受けている方の使用料を半額に減免しております。

**答** 予防給付の見直しに係る枠組みや事業内容、財源等の詳細が現時点において確定しておらず、制度変更の影響等については、論じることができない状況にあります。どのような見直しがあったとしても、高齢者の方々へのサポートに対し、最善を尽くしたいと考えております。

**二問** 駅前の自転車駐輪場の利用料は、一回50円、一ヶ月900円ですが一年間にすれば一万円もの負担となります。せめて学生の皆



### 1 介護保険制度について 2 多賀城駅前自転車駐輪場の利用料について

日本共産党 戸津川晴美



# 第4回 定例

## 一般質問



### 観光行政について

公明党 松村 敬子

**問** 過去の一般質問において「地域の資源を最大限に活用する」という観点から、農業、商業、観光の連携に基づく地産地消を促進し、またその過程の中で道の駅設置についても検討していく」と述べ、「インターチェンジ（ＩＣ）ができるので早めにプロジェクトチーム（ＰＴ）を作る」旨を述べています。よって、2点伺います。①ＩＣが、平成27年度中開通の予定となっているので地域活性化と観光産業創出に繋げるため、道の駅・物産館を視野に入れた官民協働の観光推進ＰＴをつくらたい。②観光協会の自立にむけその内容と時期はどのように検討されているか伺います。

**答** ①本市の観光振興を図るためにはどうあるべきかの検討から始める必要がある、市や様々な方々で構成する観光推進プロジェクトを平成26年度に立ち上げたいと考えております。②観光案内所を多賀城駅高架下に新設し、観光協会の事務局機能の一部も商工観光課内から移動しました。事務局体制の充実強化、物産品の販売促進、受託事業等による自主財源確保の仕組みづくりなどを観光協会と協議の上、自立に向けた支援策や時期を検討していきます。



### 1「国府多賀城ＩＣ」と命名 2「道の駅」設置計画の策定 3道路地下空洞探査・調査

自由民主党 吉田 瑞生

**一問** ①（仮称）多賀城インターチェンジの名称を「国府多賀城インターチェンジ（国府多賀城ＩＣ）」と命名するよう、国土交通省東北地方整備局と東日本高速道路株式会社東北支社に対し、多賀城市と宮城県が共通認識のもとに意思表示を図り、共同して要望活動を行ってください。②市長も「道の駅」設置について検討して述べています。国土交通省は、地域活性化のため「道の駅」を支援し充実を図る方針を決めました。「道の駅」設置計画の策定を。

**答** 今後の道路維持管理体制として路面地下空洞探査・調査を、道路施設の総点検、橋梁長寿命化を図る修繕を実施するとともに、定期的な道路パトロールを強化し、路面の異常には早急に原因調査を行い、速やかに対処していきます。また、現在の道路状況は地下埋設物の災害復旧工事や道路災害復旧工事も進んでおり、地下空洞調査は今後の検討課題として考えております。



三陸縦貫自動車道



自由民主党 江口 正夫

### 平成25年度多賀城市総合防災訓練の検証について

**問** 総合防災訓練が十一月四日に行われ、それに基づき、市民の減災防災対応力を検証します。①総合防災訓練の成果、課題は。②行政区に訓練を指導できるキーマンの育成、住民行動マニュアルを具備すべきでは。③中期ステップアップ計画に基づき、年度重点訓練種目の実施により、練度の向上を図るべきでは。特に、災害時要援護者対策は行政区毎の救助計画の作成・訓練の実施ともに、充実すべきでは。④行政区毎の訓練は、相互に研修し意見交換会を行い、訓練の充実を図るべきでは。併せて、本市在住の防災士と連携し専門的技能を活用すべきでは。

**答** ①防災体制及び応急活動体制の検証確認と、市民の防災意識の高揚を図ることができました。②地域防災リーダー育成講座では、地区住民のマニュアル作成を含めたものを検討したいと考えております。③訓練企画者や参加者の知識や訓練の習熟度に応じた訓練種目の設定を考えております。災害時要援護者名簿を活用した訓練については、関係機関や地域の方々との話し合いをしていきます。④各地区の訓練等へ他行政区の防災担当者への参加を促し、情報の共有や防災対応能力の向上を図るとともに、防災士等の知識や技能の活用を得ながら、市全体としての防災能力向上について検討してまいります。

**問** 総合防災訓練が十一月四日に行われ、それに基づき、市民の減災防災対応力を検証します。①総合防災訓練の成果、課題は。②行政区に訓練を指導できるキーマンの育成、住民行動マニュアルを具備すべきでは。③中期ステップアップ計画に基づき、年度重点訓練種目の実施により、練度の向上を図るべきでは。特に、災害時要援護者対策は行政区毎の救助計画の作成・訓練の実施ともに、充実すべきでは。④行政区毎の訓練は、相互に研修し意見交換会を行い、訓練の充実を図るべきでは。併せて、本市在住の防災士と連携し専門的技能を活用すべきでは。



留ヶ谷地区防災訓練



民政クラブ 雨森 修一

### 1 政庁外郭南門の復元計画について 2 多賀城二中に弓道場を建設することについて

**一問** 南門の復元計画が進められていますが、一千年に一度と言われる東日本大震災に見舞われ、多数の死者、家屋等の大被害を受けました。復旧・復興が最優先する10年です。市が多賀城創建1300年に合わせ南門を復元することに対し、事業の見直しを検討すべきと考えます。仮に南門を建設しても経済効果、維持管理等多難と思いますが市長の考えを問います。

**答** 被災した市民の皆様のご生活再建と震災復興計画の早期実現のため、震災復興事業を最優先に取り組んでおります。南門等の復元は震災復興計画の進捗状況を考慮しながら、取り組んでまいります。経済効果や維持管理経費等につきましては、南門等の復元に係る実施計画書の見直しと併せて調査検証してまいります。

**一問** 多賀城中、東豊中、高崎中の3校には建てられ、弓道部活動の中で心身を鍛えている生徒達も多くいます。しかし、第二中学校

**答** 現在、第二中学校では16の部活動が行われておりますが、弓道部の開設を積極的に求める生徒や保護者からの声もなく、部活動の安全性確保や部を新設することによる現在の部活動への影響を考慮しますと、現状での新部創設並びに弓道場新設については難しいと考えております。

**一問** 南門の復元計画が進められていますが、一千年に一度と言われる東日本大震災に見舞われ、多数の死者、家屋等の大被害を受けました。復旧・復興が最優先する10年です。市が多賀城創建1300年に合わせ南門を復元することに対し、事業の見直しを検討すべきと考えます。仮に南門を建設しても経済効果、維持管理等多難と思いますが市長の考えを問います。







1 市政運営  
2 「第二次多賀城市立図書館基本計画」  
3 図書館移転計画  
4 同設計素案  
日本共産党 藤原 益栄

一問 ①市は「市民との協働」を市政運営の柱にしていますが、最近協議会に提出した資料も市民に公開しないなど、そうとは思えない事実も散見します。あらためてその内容を問います。②パブリックコメントをどのように位置付けているのでしょうか。

答 ①「市民が行政経営の主体である」という視点を常に持ち続けることが市民協働によるまちづくりの基本と考え、市政を運営しております。②市民からの市政に対する意見公募手続きのひとつであると認識しております。

二問 略

三問 ①Tポイントについてどのような検討をしましたか。②図書館の指定管理候補をCCCと決めたのは公平性・透明性に欠けるのではないのでしょうか。

答 ①現時点で具体的検討に至っておりません。②CCCが有する実績とノウハウの活用で、市民へのサービスは質・量ともに向上し、



多賀城駅北側に図書館と商業施設ができるが…

合理的な運営が期待できると考えます。

四問 広く市民の意見を求めるべきです。

答 多賀城駅北開発株式会社の再開発ビルに移転するため、御意見を伺うことは困難と考えます。また、図書館協議会の意見や施設利用者の御提案等をいただいております。改めて御意見を伺う予定はございません。



1 仮設住宅入居者への支援策  
2 防災ラジオについて  
3 新桜木保育所の運営について  
日本共産党 柳原 清

一問 仮設住宅から災害公営住宅への引っ越し費用等への助成制度の具体化を急いではいかがですか。

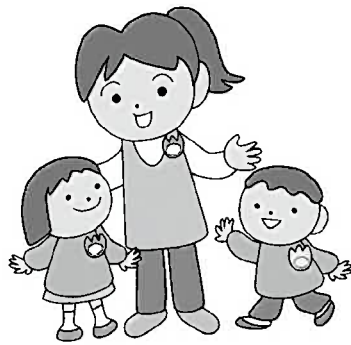
答 現在、具体的な支援内容について検討しておりますので、今しばらくお待ち願います。また、仮設住宅の集約に伴う引っ越し費用等につきましては、居住者の皆様が負担することなく転居できるよう県に対して要望しております。

二問 塩竈市では防災無線が聞こえにくい対策として「防災ラジオ」の導入を決めました。本市でも導入の検討すべきと考えますが。

答 塩竈市の場合、コミュニティFM局ベイウェイブの放送を利用し、防災ラジオへ緊急放送を行うこととしておりますが、本市にはコミュニティFM局がありませんので、防災ラジオの導入は技術的に不可能となります。将来的に本市にコミュニティFM局が開局された場合、その時点で検討させていただきます。

三問 新桜木保育所は「認定こども園」ではなく従来通り市立保育所として運営すべきと考えますが。

答 新桜木保育所の運営につきましては、保護者の多様な保育ニーズに添えていくため、認定こども園も選択肢の一つとして捉えており、今後も様々な角度から検討し、市民にとって最適な方法を選択したいと考えております。





公明党 阿部 正幸

- 1 多賀城市立図書館について
- 2 多賀城・七ヶ浜商工会振興補助金について
- 3 被災者生活再建支援について

**一問** 多賀城市立図書館について  
 ①児童書コーナーは防犯上から2階にしていたきたい。②駐車場から図書館へ行く場合に、車いすを利用する方などが、雨に濡れないように屋根などを設置していただきたい。

**答** ①実施設計業務を進める上で十分に考慮すべき事項と認識しております。②身障者用駐車場の敷地内に3台程度確保する方向で検討しておりますが、十分でないことも想定されますので、南北駅前広場等の整備に関連させて検討してまいります。

**二問** 多賀城・七ヶ浜商工会振興補助金について本市の復興に向けて重要な役割を担っているのに、補助金額を増額していただきたい。

**答** 現在、商工会が行う商工業者への「経営改善指導・育成事業」に対して補助金を交付しております。新たな振興事業を展開する場合、事業の目的、効果、目標とする成果、収支予算などの事業計画

について協議を重ね、内容を検討した上で、判断したいと考えております。

**三問** 仮設住宅から災害公営住宅へ引越しする際に、経済的負担の配慮として、引越し費用として本市独自の支援策を講じていただきたい。

**答** 仮設住宅を巡回訪問し、市独自の支援策を構築しなければならぬと感じたところですので、前向きに検討してまいります。



## 第1回定例会始まる! ぜひ、傍聴を!

平成26年度の事業と予算を決める大切な議会です。あなたの目と耳で、まちづくりと暮らしを守る事業を決定する議会の現場を確認してください。日程の詳細は、議会事務局にお問い合わせ下さい。

### 第1回定例会会期日程 (予定)

月 日	曜日	会 場	内 容
2月12日	水	本会議場	施政方針
2月14日	金	本会議場	条例等の審議
2月17日	月	全員協議会室	補正予算特別委員会
2月18日	火	全員協議会室	補正予算特別委員会
2月24日	月	本会議場	一般質問
2月25日	火	本会議場	一般質問
2月26日	水	全員協議会室	予算特別委員会
3月 3日	月	全員協議会室	予算特別委員会
3月 4日	火	全員協議会室	予算特別委員会
3月 5日	水	全員協議会室	予算特別委員会
3月 6日	木	全員協議会室	予算特別委員会
3月 7日	金	本会議場	予算採決、請願・陳情

※上記以外は議案調査のため休会です

。
。

**おめでとーいございます。**  
**文化の日表彰**

吉田瑞生議員が、このたび永年の功績が認められ、  
 地方自治功勞を受賞しました。

**総務大臣感謝状**

竹谷英昭議員が、35年以上の市議会議員としての功績  
 が認められ、総務大臣より感謝状が贈呈されました。



赤レンガを活かしたまちづくり（外観）



赤レンガを活かしたまちづくり（ホール）



総務経済常任委員会は11月5日から7日まで2泊3日で大阪府池田市、京都府舞鶴市、宮津市を、協働のまちづくり、近代遺産を活かした観光事業、独自の観光産業、企業立地支援制度について、行政視察を行いました。

池田市では各コミュニティ推進協議会に対して予算提案権を与え、地域の特性に準じた事業を実施しており、地域だからこそできる問題解決に取り組み住民の意識改革を図っていました。地域の地域による地域のための組織づくりの必要性を痛感しました。

舞鶴市の赤レンガを活かしたまちづくりは、昭和63年舞鶴市職員が横浜港埠頭にある赤煉瓦倉庫2棟を赤レンガパークとして活用しようとしている事を契機に地元にある赤煉瓦倉庫に着目し、赤煉瓦倉庫の魅力に気づかされた舞鶴市民は、コンサートを開催し赤レンガ博物館をオープンさせ賑わいの創出を図りました。海軍工廠跡地を県が整備し発展してきた本市にとって、その歴史を伝えていかなければならない事を実感しました。

宮津市の人口はピーク時の3万6千人から2万人を切る状況にあり、定住促進を図るとともに、昭和63年宮津市企業立地拡充促進条例を制定し、企業の立地及び拡充を行った事業者に奨励金を交付することで、立地促進奨励金を新規地元正規従業員1人につき40万円、新規地元非正規従業員1人につき10万円（交付期間3年間）としています。財源は京都府未来づくり交付金（宮津市50%拠出）現在まで6事業者が対象となっています。震災復興に向けた工場地帯の整備は急務となっていることから各自治体の取り組みは注視していかなければなりません。





八幡浜市道の駅 公募デザインのトイレ



滞在型農園施設 ラントウレーベン大三島

平成25年11月26日から2泊3日の行程で行政視察を行いました。広島県世羅町においては「優良田園住宅制度」についての視察でした。これは、多賀城市が現在進める大規模圃場整備事業を円滑に進める為に有用な施策であるとの思いで視察に至りました。補助金や助成金の活用ではなく、市街地調整区において用途変更する事無く整備することが出来る制度です。世羅町では全戸完売には至っておりませんが、当市においては検討の余地があり今後も当委員会で検証して参ります。

愛媛県今治市においては、「滞在型農園施設ラントウレーベン大三島」の現地視察を行いました。とても素晴らしい環境の下に遠くは北海道から移り住んだ事例も紹介いただきました。現地の環境を含めて多賀城市において実施するのは難しいと感じましたが、二市三町の広域行政の視点で見れば、大いに活用出来る施策であり、委員メンバーの今後の議員活動において非常に参考になる事例でした。また愛媛県八幡浜市と宇和島市は「地域交流拠点施設整備運営事業等」、道の駅と海の駅という興味深い内容でした。民間の発想と資本を取り入れることやトイレのデザインに公募という手法で市外の方々にも魅力のPRをするなど、観光施策を進める上で非常に参考になりました。今後も視察の学びを大いに活用しながら市民の福祉向上に努めて参りたいと思います。



小布施町立図書館内 (まちとしょテラス)



おぶせ まちじゅう図書館

11月11日から13日の日程で長野県上田市、岡谷市、小布施町を行政視察しました。

上田市では「子育て支援（幼保小中連携について）」をテーマに幼児期から義務教育期へのスムーズな移行、特別支援が必要な子の情報を共有し、2次障害の発生を防止しているなど学校教育課長より説明を受けました。ノーメディアデーの実施や、子育て全てに関する事柄を内包する子ども未来部の設置等、先進的活動に注目してきました。

岡谷市では「放課後子どもの居場所づくり事業」について視察しました。教育委員会生涯学習課長から、地域の人々の参画を得て事業に取り組んでいるとの説明を受けました。

小布施町では「図書館運営」について視察しました。一度は見ておきたい世界の図書館15のうちの1つといわれている回図書館は、大正12年の開館から現在までの歴史があります。平成21年に建て替えられ、新図書館としてオープンしました。オープンまでのプロセスは、図書館法の遵守を基本に、計画、設計等へ多くの町民の参加を重視しました。その要望や意見を尊重し、その意見が十分生かされた図書館として現在に至っています。館長は全国からの公募というユニークな取り組みも目を引きました。



# 子どもたちのすてきな活動に フォーカス

## 史跡でそば作り体験 **城南小学校**



新田地区生産組合の機械を借りて収穫

子どもたちのすてきな活動にフォーカス



種まきの準備

城南小6年生は政庁跡で歴史を学習して、学びの場で蕎麦の種をまき、収穫後そばの実を石臼で挽いてそばを打ちます。体験学習事業の目的は、古来から食されてきた蕎麦を特別史跡多賀城内用地で栽培体験し、食を通じて歴史学習することにより、特別史跡等の更なる周知や文化財に対する保護意識の向上が図られること、学んだ子供たちが多賀城の歴史を語ることが個々の教養として対人関係に活かされて行くことなど、様々な効果が期待できます。

耕作地は多賀城跡大畑地区、市川地区の市民団体多賀城史跡美化研究会(佐藤忠浩会長)の全面的な協力をいただき、種まき・刈り取り・乾燥などの作業を実施しました。初年度の平成23年は収穫量約90キロ、平成24年度は170キロ、今年度は天候の関係で約40キロと収穫量は減少となりました。収穫後の試食体験は城南小学校で、石臼を使用して粉挽き体験し、H23年はあんこ汁、H24年はそばがき汁を料理することができ、H25年は12月5、6日にそばがき汁を作り楽しい時間を過ごす事が出来ました。



# 私もひとこと

議会を傍聴したみなさんからの感想や意見です。



多賀城市は全国に先駆けて、本年11月28日「減災都市宣言」を行った。姿の見えない議員もいた。様々な都合があるだろうが、新しく東北大学に誕生した災害科学国際研究所の歴史資料保存学専門である平川所長による従来の視点とは異なった基調講演「災害の歴史から学ぶこと」も含まれていることから、防災・減災に関心が高ければ参加すべきであった。主催者側の運用が悪く、基調講演の持ち時間が少ないことが問題であったが、12月には市議会第4回定例会が開催され、ここ一年間の一般質問総数は89件に及んでいるが、本腰を入れた防災・減災に関する質問や提案があまりに少ないことを非常に危惧している。

熊谷 敏晴さん(東田中在住)

今回傍聴させて頂きまして、大変に勉強になりました。私自身も町民のために、しっかりとした質問を心がけていきたいと思えます。

西澤 文久さん(利府町在住)

はじめて議会を傍聴しました。

図書館が心配で来ました。納得のゆく結果ではありませんでした。

(傍聴者)

市長さんはじめ職員の方々のご苦勞に感謝しております。

(傍聴者)

## 私もひとこと

### 編集後記



早いもので、編集委員になって1年半過ぎました。

市民の皆さん、お変わりございませんか？あの震災から3度目の冬を迎えましたね。寒さも厳しいですが、それ以上に「生活が厳しい！」そんな声が聞こえてきそうな今日この頃。少しでも心が温まる情報をお届けできればと編集委員一同奮闘しています。

先日、嬉しいことがありました。何十年もの間ずっと一人で暮らしていたら、つしやるという80代の女性が、その胸の内にずっとため込んでいた様々な苦しい思いを一つ一つはき出すようにお話ししてくれたのです。震災を受けたご自宅をたった一人で再建され、気丈にふるまっていた彼女でしたが、その苦勞は想像を絶するものだったのです。私は、ただただ彼女の話を聞くことしかできませんでした。一人で暮らす方々が日々感じている孤独や不安の大きさにも気づかされました。しかし、話された後、少し笑顔が戻ってきたのを見て、嬉しくなりました。今でも思い出すと心がほっこりします。

(戸津川)

#### ●広報特別委員会

- 委員長 米澤 まぎ子
- 副委員長 伏谷 修一
- 委員 戸津川 晴美
- 委員 江口 正夫
- 委員 阿部 正幸
- 委員 雨森 修一



# 追跡レポート

## 学区見直しはどうなったの？

少子化による児童数の減少、学校の児童数の格差、震災後の新しいまちづくりによる児童の所在地の変化等により、従前から学区の見直しの意見が賛否両論あります。今回は、学識経験者や行政区代表、学校関係者で構成する学区検討会議の状況について、追跡しました。

### 1 検討のための基本方針

- (1)適正な通学距離と安全性の確保
- (2)地域の教育力の低下を防止
- (3)震災の影響や復興計画の将来像を見越した編成
- (4)現状の学区の問題点や各地区からの要望を把握
- (5)児童生徒数の適正化

### 2 見直し検討の経緯

- 平成24年度：①(仮称)第七小学校の転換に係る説明会の開催  
②各小中学校PTAのアンケート調査実施  
③市PTA連合会における調査による説明会開催  
④市内小学校区6か所における学区見直しの懇談会開催  
⑤全小中学校の保護者対象のアンケート調査実施

平成25年度：平成25年9月から3回にわたって、小中学校区検討会議を開催し、平成26年2月4日の4回目の検討会で意見書が提出されます。

### 3 検討会議での検討状況

- ①学校までの通学距離が遠いという意見がありますが、法令上の距離（小学校は概ね4km以内、中学校は概ね6km以内）を上回る学区はありません。
- ②今後の都市計画及び震災後の人口流動、復興計画による橋・道路建設がある中で、現時点での学区の変更は困難ではないかと判断します。
- ③以上のことから、大規模な学区変更は行わず、学区変更の緊急性がある地域がないかの検討を行っております。
- ④そのうえで、通学路の安全確保の要望や復興状況が落ち着いてからの学区見直しの必要性について、検討していきます。

※2月4日の検討会における意見書をうけて、教育委員会で協議し、最終的に決定されることとなります。

多賀城市立小学校の児童数と学級数  
(平成25年12月1日現在)

学校名	児童数	学級
多賀城小学校	759人	27学級
多賀城東小学校	533人	20学級
山王小学校	737人	26学級
天真小学校	352人	14学級
城南小学校	866人	29学級
多賀城八幡小学校	341人	13学級

**むすび** 学区見直しについては、現時点、保護者のアンケート回答では見直しに消極的な意見が多数あることや、復興後のまちづくりの将来像が不透明なこともあり、抜本的な見直しは時期尚早と思われます。保護者の意見を重視し、児童の教育環境を重点に時間をかけて取り組んで行くべきと考えます。  
(レポーター 江口)